

厚田在住の大学生によるフリーマガジン

ATSUTATOUR

vol.6

#厚田ノスタルジー



厚田十字街

厚田村の歴史を辿る

E
Z
O

F
I
E
L
D

厚田に突如現れた、話題の新店舗



製作：石狩市厚田区地域おこし協力隊

2020年10月発行

ATSUTATOURL とは

厚田を巡るあなたのための地図

厚田を活性化させるために日々活動している

「厚田区地域おこし協力隊」。その1員である「りょう」が、活動をしていく中で見つけた厚田の人・食・景色などの魅力をお届けするため毎月発行しています。

目次

P3. 毎月更新 ATSUTAMAP

P5.EZOFIELD

P7. 厚田十字街

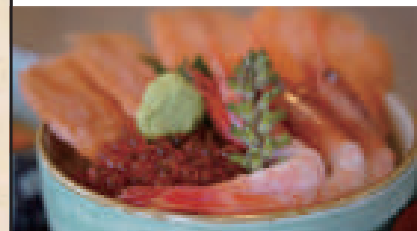
厚田こだわり隊



厚田の食材を使ったグルメを
出店販売中！

食事と民宿

八幡二



冬季期間も営業！
季節限定メニューは
HPをチェック！

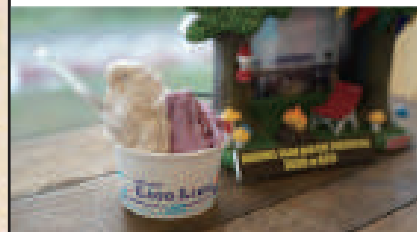


カントリーキッチン アン



北海道石狩市厚田区厚田 24-1

GELATO
Lico Lico



HP 完成！フレーバー紹介や
オンラインショップも公開予定です！

LicoLico HP
はこちらから



毎月更新！

ATSUTA MAP

ATSUTATOUR へようこそ！

このマップは、毎月店舗が紹介されるたびに
情報が増えていきます！
最近では寒い日が増えてきましたね...。
北海道の秋は本当に短いので、雪が降る前に
紅葉狩りしておきたいなあと思っています！
冬の間もアツタツアーはどんどん更新されていく
ので楽しみに～！

厚田十字街



←札幌

石狩川

ようこそ
厚田へ

聚富
shippu

フロンテア乗馬クラブ
取材：vol.5

ぎやらりー & かふえ
ねこ道楽
取材：vol.3

ちいさなうつわや
ありす cafe
取材：vol.4

セイコーマート望来店

嶺泊展望パーキング
(カシオペアの丘)

EZOFIELD
P5

恋人の聖地
(あいろーとパーク内)

厚田キャンプ場
取材：vol.4

望来
mourai

厚田
atsuta

絶景ポイント 紹介店舗 目印 既出店舗

BEER

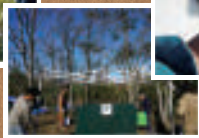
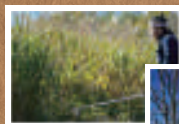
なんと EZO FIELD ではお酒も飲める！
道内どころか国内でも珍しい「GIGANTIC」は必飲。



▲オレゴン州ポートランドのブルワリー「GIGANTIC」も飲める。日本で飲めるのは超貴重…！



▲運転者はノンアルで乾杯！サーバーからおつぎいたします。



NEXT IS...?



▲開拓を進める彼らの夢はまだ始まったばかり。来年度からが楽しみで仕方ない。

EZO FIELD

〒061-3605
北海道石狩市厚田区 162-15
Tel:011-790-6014
11:00~ 日が沈むまで
営業日 不定期 (SNS で発信)
(冬季は休業)

代表者：堀田祐史・芹田洋輔

HP



GOODS



「伝統 × 現代」をブランドにかける「JUGEM」のTシャツも販売。アイヌ模様や伝統模様を取り入れているのがポイント。

▼「蝦夷場」の看板が目印。



▲入り口からは建築の様子が見える。



今話題の新店舗！

EZO FIELD

に直撃取材！

2020 年 9 月 15 日、厚田区別狩の別荘地に突如一つのお店がオープン。厚田区内でも「何をやっているお店なのか」と話題になる中、これは是非とも ATSUTATOUR で取材せねば！と今回直撃取材させていただいた。

厚田の魅力が体感できる場所

厚田区、道の駅から石狩方面に約二キロの場所にオーブンした EZO FIELD。今が、話を聞くと「色々開拓中」なのだそう。なんと、四千坪もの土地を開拓し、来年度にはキャンプ・サバイバルゲラム・キッズパークやドッグランなどができるスペースを作元々「あそびーち石狩」内海の家にしていた彼ら。なぜ厚田で営業しようと思ったのか聞いてみると、厚田の夕日・大自然などの良さを知ってもらいたいの場所を作ることで、もっというんな人に「実際に体感してもらいたい」という熱い思いを語っていた。雪解け後は休業するというが、トなども企画しているらしい。チェックアウトドア好きな人は要い。

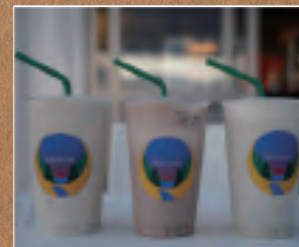
CAFE

今年度はカフェの営業！夕日を望めるテラス席で特製ジュースや軽食を楽しもう。

▼北海道産豚肉を使ったペッパーライス。今後はランチセットも計画中。



▼「バナナミルク」はチョコミルク・ナッツ・きな粉の3種類から。



▼海に沈む夕日を見ながらの食事は、厚田ならではの魅力。



十字街

厚田川右岸の川沿いに発達した道と、川から厚田神社に向かう道が交差することでできた厚田十字街。明治14年には約12000人もの人々が住み、ブリキ屋、桶屋、菓子屋など多くの店で賑わっていた。今回は十字街内の5店舗を巡りながら、「厚田村」の生活を覗いてみようと思う。

厚田

厚田繁栄の 面影を残す

アモイ亭

朝9時から開店している厚田のお弁当屋さん。「ザンギ弁当」や「幕の内弁当」といった定番のお弁当の他にも、20種類以上のおかずの中から自分の好きな物を選んで作る「好きなおかずでMY弁当」はここならではの楽しみ。冬期間も営業しているので、厚田区民には貴重なお昼ご飯候補の一つでもある。隣のお店では釣り具も販売。

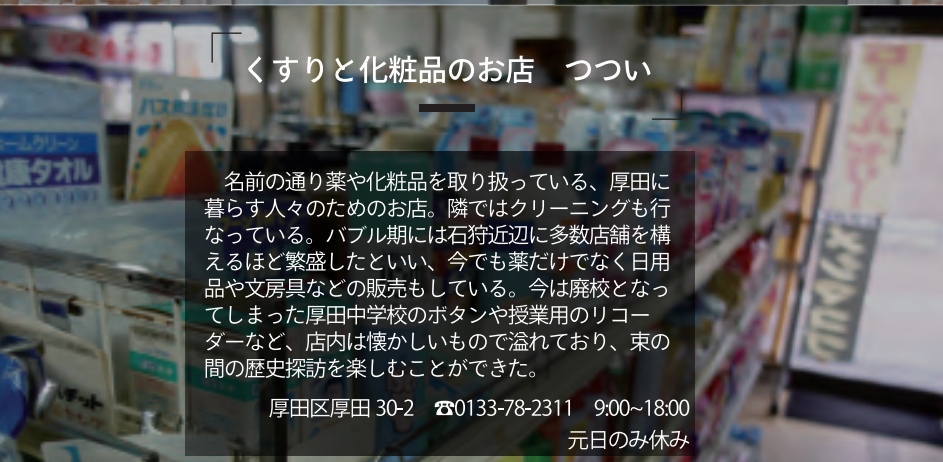
厚田区厚田 30 ☎0133-78-2419 9:00~14:00 頃
不定休



くすりと化粧品のお店 つつい

名前の通り薬や化粧品を取り扱っている、厚田に暮らす人々のためのお店。隣ではクリーニングも行っている。バブル期には石狩近辺に多数店舗を構えるほど繁盛したといい、今でも薬だけでなく日用品や文房具などの販売もしている。今は廃校となってしまった厚田中学校のボタンや授業用のリコーダーなど、店内は懐かしいもので溢れており、束の間の歴史探訪を楽しむことができた。

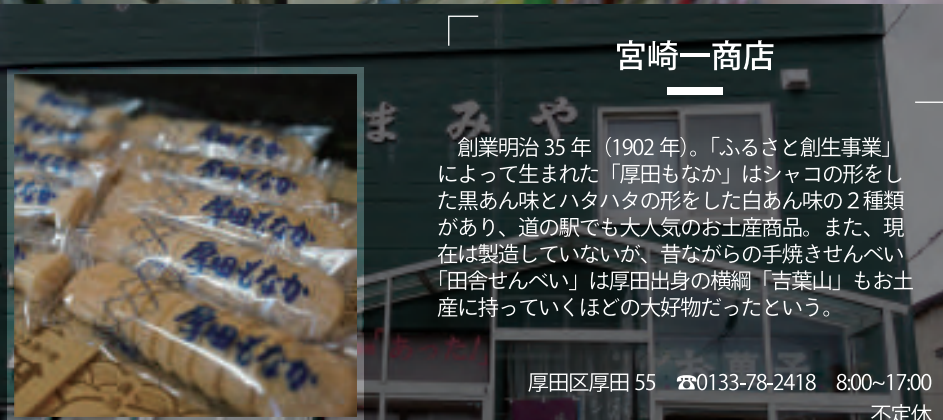
厚田区厚田 30-2 ☎0133-78-2311 9:00~18:00
元日のみ休み



宮崎一商店

創業明治35年(1902年)。「ふるさと創生事業」によって生まれた「厚田もなか」はシャコの形をした黒あん味とハタハタの形をした白あん味の2種類があり、道の駅でも大人気のお土産商品。また、現在は製造していないが、昔ながらの手焼きせんべい「田舎せんべい」は厚田出身の横綱「吉葉山」もお土産に持っていくほどの大好物だったという。

厚田区厚田 55 ☎0133-78-2418 8:00~17:00
不定休



戸田旅館

「厚田の大綱元」佐藤松太郎によって明治37年(1904年)に建てられた、116年の歴史を誇る旅館。今年改修工事を終え、壁の塗装や畳の表替えなど宿泊施設としての機能は修繕しながらも当時の内装を損なわない形でリニューアルした。玄関の下駄箱や衡立からは当時の様子を伺うことができ、建築関係の方は廊下に使われている材料や天井の造りを見て感動するという。

厚田区厚田 5 ☎0133-78-2036 客数 6 室
Wi-fi あり 冬季の宿泊については相談



妹尾豆腐店

開店前から行列ができ、午前中に売り切れる事も多い厚田の豆腐店。「豆腐屋さんの朝は早い」の通り、取材時にも午前1時には仕込みを開始していた。製造のこだわりについては、「昔からずっと続く基本の作り方を続けているだけ、特別なことは何もしていない」と話す。定番の「厚田とうふ」の他にも、木綿豆腐のしっかりとした食感を活かして作られた油あげも絶品なので是非一度食べていただきたい。

厚田区厚田 31 ☎0133-78-2408 8:30~売り切れまで
定休日 月曜日
火曜日休みの場合有り

